

学部 / 人間科学領域 / 導入科目 科目コード : 130002 生物学 Biology					
担当教員	峰松 健夫				
実務経験	担当教員は分子生物学を専門とし、生物学を基盤とした看護学（バイオロジカルナーシング）の教育と研究に携わっている。				
開講年次	1年次前期	単位数	1	授業形態	講義・演習
必修・選択	選択	時間数	15		
Keywords	遺伝子、タンパク質、染色体、細胞、分化、性決定、遺伝子治療、iPS細胞、藻類、性別不適合など				
学習目的・目標	目的：看護における生物学的視点とその意義を理解する。 目標：iPS細胞や性別不適合など看護や医療にかかわるトピックを選定し、それぞれの原理や現状、将来展望をグループで学習・発表することを通して、看護に必要な生物学的基礎知識を身に着ける。				
授業計画・内容					
回	内容				
1	オリエンテーション（グループ分け、トピック選定）、看護における生物学の意義				
2-3	グループワーク				
4-7	学習成果のプレゼンテーション、ディスカッション				
8	まとめ				
教科書	医療・看護系のための生物学（改訂版）. 田村隆明著. 裳華房				
参考図書等	教養としての生命科学-いのち・ヒト・社会を考える. 小泉修著. 丸善出版. ISBN: 978-4-621-30116-6 看護系で役立つ生物の基本. 西沢いずみ著. 化学同人. ISBN: 9784759820652				
評価指標	レポート70%, 授業参加状況（グループワーク・プレゼンテーション・ディスカッション）30%				
関連科目	化学, 生命倫理学, 生理人類学, 解剖生理学, 代謝と栄養, 人間病態学, 疾病・障害論I, 薬理学				
教員から学生へのメッセージ	看護の対象が「ヒト」という生き物である以上、生物学は看護師にとって欠かせない素養だと言えます。教科書の暗記ではなく、活きた知識を身に着け、生物学の面白さを体感しましょう。				